

# 高病原性鳥インフルエンザ対応防護服着脱マニュアル

平成 29 年 10 月 2 日  
健康づくり支援課  
畜産振興課

## 1 目的

感染鳥類と直接接触し、その際に適切な PPE になるように効率的な手順とした。そのため手順どおりでなくても最終的に適切であれば問題はない。

## 2 防護服着脱マニュアルの掲示

すべての動員者が防護服着脱マニュアルを確認できるように本マニュアルを防護服着脱会場内に掲示する。

## 3 防護服着衣手順

### (1) 必要資材チェックリスト

防護服セット： ゴーグル、 防護服、 手袋（薄手）、 手袋（厚手）

N95 マスク

キャップ

長靴

くもり止め（ゴーグルに使用）

ガムテープ（布）

油性マジック（黒、赤）

ヘルメットセット）

軍手）

肘カバー付手袋）

### (2) PPE 係

着衣担当は、青の防護服だけを着用し、防疫作業従事者の着衣作業をサポートする。



No.	防護服の着衣手順	写真
1	防護服の前部、後部に油性マジックで組織名（簡略名）、名前を見やすいように記入する。	
2	ゴーグル及び眼鏡に曇り止めを塗る。	
3	靴を脱いで、靴下の中に、ズボンの中のすそを入れる。 装飾品をはずす。 髪の毛の長い人は結ぶ。	
4	防護服を足から着る。	
5	ゴム長靴を履く 防護服の裾は長靴の外に出す。	
6	キャップをつけ、髪の毛が出ないようにする。	
7	マスクを装着する。 針金がある部分を鼻にフィットさせ、マスクと顔の間に隙間が出来ないように装着する。	

No.	防護服の着衣手順	写真
8	<p>1枚目の薄手の手袋をはめる。            防護服の袖をまくり、薄手の手袋で着ている服の袖を覆い、手袋の上に防護服の袖を伸ばす。</p>	
9	<p>フードをかぶり、ゴーグルを装着する。            ゴーグルがフードの上にくるようにし、額が露出しないようにする。</p>	
10	<p>防疫作業支援者がガムテープ（布）で裾部分の目張りを行う。            ※ ガムテープに 2-3cm の折り返しを作り、外しやすくする。</p> <p><b>【長靴】</b>            屈伸の際のゆとりを考慮する。</p>	
11	<p>2枚目の厚い手袋をはめる。            防疫作業支援者がガムテープ（布）で厚手手袋袖部分の目張りを行う。            作業場に応じて、肘カバー付厚手手袋等に付け替える。</p> <p>※ 軍手を使用する際は、8で薄手のゴム手袋を防護服の袖を覆うようにはめ、その上から軍手をはめる。軍手で作業するときは、内側の薄手の手袋が破損した際は、原則として洗浄・消毒をし、クリーンゾーンに戻り、脱衣後、再度着衣を行いホットゾーンに戻る。</p>	 
12	<p>出来上がり。</p>	

#### 4 防護服脱衣手順

(1) 必要資材チェックリスト (1度に10人が脱衣する場合)

##### ○脱着場

- いす (10脚)
- ごみ箱 (5個)
- ごみ袋
- アルコール
- アルコール噴霧器
- トング又は火バサミ
- ごみとじヒモ
- 掛け時計
- 鏡
- マジック (□黒、□赤)
- 暖房用具 (□ストーブ、□灯油、□給油ポンプ、□ライター、□カイロ)



##### ○手洗い・うがい場

- 長机
- 消毒用石鹼 (手洗い用)
- 紙コップ
- うがい液 (イソジン液)
- ペーパータオル
- 給水設備 (水道又はポリタンク)
- 排水設備 (又はポリタンク)
















##### (2) PPE 係



脱衣担当は、防疫作業従事者と同様な白の防護服を装着し (目張りは省略)、作業従事者の PPE が適切であったかを確認しながら適切な順序で脱衣作業をサポートする。

ヘルメットをかぶっている防疫作業従事者については、脱衣担当がヘルメットを受取り、脱衣終了までに消毒し、脱衣終了後本人に返還する。



No.	防護服の脱衣手順	写真
1	ゴム長靴のガムテープをはぐ。	
2	<p>PPE 係から厚手の手袋に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせてまんべんなく消毒する。</p> <p>※脱衣のプロセスで汚染された場合には、その都度、消毒薬を噴霧する。</p>	
3	<p>厚手手袋のガムテープをはぎ、厚手手袋を外す。</p> <p>※内側の薄手手袋に触れないように、厚手手袋を裏返すように外す。</p> <p>残りの厚手手袋を外す際は、厚手手袋の外側に触れないようにする。</p>	
4	PPE 係から薄手の手袋に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせてまんべんなく消毒する。	
5	目をつぶり、ゴーグルを外す。	
6	PPE 係から薄手の手袋に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせてまんべんなく消毒する。	
7	防護服のファスナーを下まで降ろす。	

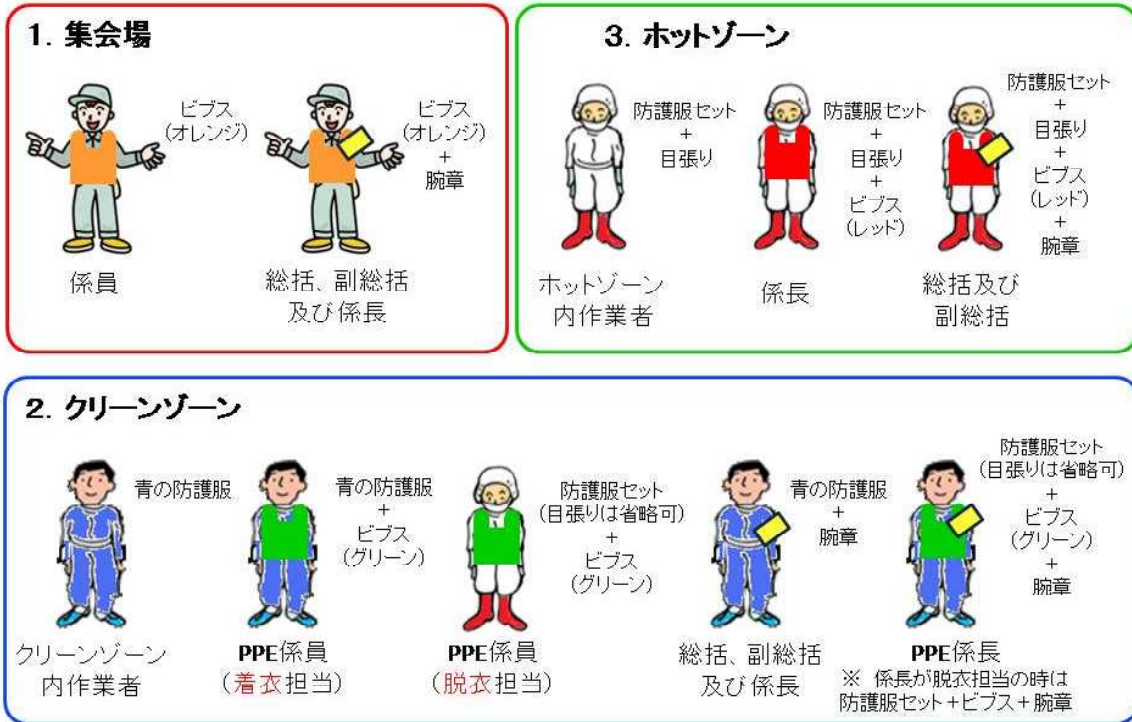
No.	防護服の脱衣手順	写真
8	PPE 係から薄手の手袋に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせる。	
9	防護服の外側を触れないように脱いでいき、最後は長靴で踏みつけるようにして脱ぐ。	
10	PPE 係から薄手の手袋に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせる。長靴に消毒液を噴霧してもらい、消毒をする。	
11	N95 マスクとキャップをはずす。 マスクの部分を持って、目をつぶって、上方に引っ張り上げるようにしてはずす。 キャップは上の方を持って上方に引っ張り上げるようにしてはずす。	
12	PPE 係から薄手の手袋に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせてまんべんなく消毒する。	
13	薄手の手袋も脱ぐ。 素手で手袋の外側に触れないように、薄手の手袋を裏返すように脱ぐ。	

No.	防護服の脱衣手順	写真
14	PPE 係から手に消毒薬を噴霧してもらい、よくこすり合わせてまんべんなく消毒する。	
15	脱衣後、手洗い・洗顔・うがいを行って、休憩所へ。	
16	クリーンゾーンから集会場へ出る際に資材・機材係から靴を受け取り、長靴から靴へ履き替える。	

【参考】

1 各作業者の服装について

**各作業者の服装について (まとめ)**



2 ホットゾーンから退場する際の洗浄、消毒について

**ホットゾーンからクリーンゾーンに戻る時の消毒**

